

令和4年12月16日

廿日市市立廿日市小学校

校長 光廣 敏樹

令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

年末に向け、何かとお忙しくお過ごしのことと存じます。さて、本年4月19日に実施しました令和4年度全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。

各教科の平均正答率			
	国語	算数	理科
廿日市市立廿日市小学校	78	72	72
広島県(公立)	67	64	66
全国(公立)	65.6	63.2	63.3

国語

平均正答率が県平均、全国平均を上回りました。ほとんどの問題において県平均、全国平均を上回りました。しかし、「表現の効果を考えることができるかどうかをみる問題」での正答率が県平均、全国平均を下回り、文章を読んでいく中で、想像した人物像や全体像と関わらせながら、様々な表現が読み手について与える効果について考える力に課題が見られました。

算数

平均正答率が県平均、全国平均を上回りました。ほとんどの問題において県平均、全国平均を上回りました。しかし、「日常の具体的な場面において、数量が変わっても割合は変わらないことを理解しているかどうかをみる問題」での正答率が県平均、全国平均を下回り、割合の問題に課題が見られました。

理科

平均正答率が県平均、全国平均を上回りました。ほとんどの問題において県平均、全国平均を上回りました。しかし、「エネルギーに関する問題」の「日光は直進することを理解しているかどうかをみる問題」での正答率がほかの問題に比べ低く、習得した知識を、学習や生活などに生かすことに課題が見られました。

課題に対する対応

この結果を受け、次の2点を重点的に取り組んでいきます。

- ① 文章を読み取る場面では、表現の効果を考えることができるように、様々な叙述に着目させていきながら読むことを指導していきます。
- ② 日常の具体的な場面に対応させながら問題に取り組んでいきます。
- ③ 主体的な問題解決を通して、生きて働く知識を習得し、その知識を概念的に理解させていきます。

本校では、すべての児童が授業に参加する授業づくりを意識して取り組んでいます。また、児童一人一人に自分の考えを表現する力が身に付くよう、意識して授業づくりを行っています。